

授業科目

共生社会論

担当教員名 青柳 親房	対象学年	4	対象学科	社会
	開講時期	後期	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○	◎	◎	○

授業の概要

「共生社会」という概念を先行研究に基づき考察した後に、障がい者福祉、児童自立支援施設、認知症高齢者対策、オランダにおける医療・福祉の実例などの具体的な考察事例を通して福祉の様々な場面における共生の姿をたどり、共生社会の在り方を各人が考える。

授業の目的

現代社会におけるさまざまな問題状況に対して共生という観点から考察し、あるべき社会の姿を認識する。具体的には、身近な生活世界における社会的排除の背景やその社会的な仕組みなどを理解し、問題状況や生活課題について把握することにより、共生社会について理解する。

学習目標

1. 共生や共生社会に関する知識を修得する。
2. 社会的多様性を認識し、問題意識を深める。
3. さまざまな共生のあり方について考察し、感じたことを表現し合う。
4. 多様な価値を有する人々の生き方や個性、自己実現の方法を理解する。
5. 共生社会に関して自分なりの意見を持ち、他の学生とコミュニケーションを図る。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	共生社会とは（1）	講義	青柳 親房
2	共生社会とは（2）	講義	青柳 親房
3	社会の多様性を考える（1）	講義・グループ学習	青柳 親房
4	社会の多様性を考える（2）	講義・グループ学習	青柳 親房
5	社会の多様性を考える（3）	講義・グループ学習	青柳 親房
6	社会の多様性に関する検討と意見交換（1）	講義・ディスカッション	青柳 親房
7	社会の多様性に関する検討と意見交換（2）	講義・ディスカッション	青柳 親房
8	前半の総括	講義	青柳 親房
9	共生社会への理解（1）	講義・グループ学習	青柳 親房
10	共生社会への理解（2）	講義・グループ学習	青柳 親房
11	共生社会への理解（3）	講義・グループ学習	青柳 親房
12	共生社会に関する検討と意見交換（1）	講義・ディスカッション	青柳 親房
13	共生社会に関する検討と意見交換（2）	講義・ディスカッション	青柳 親房
14	総括（1）	講義	青柳 親房
15	総括（2）	講義	青柳 親房

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	特に指定しない（プリントを配布する）。					
参考書	適宜、授業中に参考書を紹介する。					
その他の資料	適宜、授業中に資料を紹介する。					

評価方法

1. 課題の提出内容(約5割)
2. 授業への参加度(約5割) を評価する。

履修上の留意点

オフィスアワー・連絡先

研究室 F 1 0 5（講義時間を除き、原則として火曜日から金曜日まで在室）
E-mail chikafusa-aoyagi@nuhw.ac.jp